

バングラデシュ国テクナフ半島の住民による ベンガル湾生物多様性保全のための 「責任ある漁業」の推進

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

孵化したウミガメ 6,000個体

漁業の法制度を
把握している漁民 81%

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 100%



漁業者に人気のゲーム「漁業すごろく」

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

対象コミュニティの若者に、代替生計手段を習得してもらうための研修を行ったが、伝統的漁業への愛着が強く、あまり成果があがらなかった。時間をかける必要がある。

■工夫した点

事業終了後もベンガル湾の生物多様性が維持され漁業資源の負荷が軽減されるように、漁業者やコミュニティのメンバーが自主的に活動できる内容に工夫した。

課 題

ベンガル湾に面するバングラデシュ国テクナフ半島では、漁業者の知識不足により、過剰漁獲や収奪的・破壊的漁法が問題となり、生物多様性と海洋資源の劣化を招いていた。

目 標

テクナフ沿岸の海洋資源の増加／ウミガメのふ化成功／混獲による生物多様性へのダメージの減少／産卵期の魚類の捕獲の最小化／ウミガメの卵の盗掘の最小化

活動内容と成果

- テクナフ半島3村において①違法な漁網の使用停止②海洋・水産関係の法令順守の促進
- 51%の漁民が混獲された幼魚などのリリース方法を把握
- 漁業関係の規則を知っている人が2%から33%に増加
- 適正な目合いの漁網を5コミュニティに貸し出し、今までの違法ネットより効果的に漁業が行えることを示した
- 1kmの砂浜を保護し、6,000個体のウミガメが孵化
- 中間コンサルテーションの結果を受け、漁業者に生物多様性の重要性を伝えるためのボードゲーム「漁業すごろく」を作成し、大人気となっている



貸し出した漁網を操る漁業者



海岸に設置されたウミガメの卵の保護施設

全助成期間の活動を振り返って

目合いが細かい違法な漁網は、大小さまざまな魚を捕まえることができ、漁獲量が上がると考えられていた。しかし、本活動で目合いが大きいコットン漁網を漁民に貸し出し、違法なネットを使用した場合よりも、高く売れる大きな魚を効率的に捕獲でき、収入が増えることを漁業者が体感できたことで、これまでの考え方を変えることができ、意義のある行動変容が起こった。事業に参加しなかったコミュニティからも関心をよんでいる。

| 活動地域 |  バングラデシュ

11/8 Iqbal Road, Block-A, Mohammadpur,
Dhaka-1207, Bangladesh
E-mail : bdpoush@gmail.com
www.bdpoush.org



今後の
展望

- 得られた知見は、同じ生態系を持つ他の場所においてベンガル湾の生物多様性の促進や政策提言につなげることができる
- 適正な目合いの漁網は、違法な漁網よりも漁獲量が増え自主的に使用されるようになるほか、幼魚のリリースに関係する訓練や漁獲量のモニタリングは住民により継続されている
- 本事業の成果を発展させ、ベンガル湾の生物多様性保全を促進するため、トヨタ環境活動助成プログラム事業が開始された